感動をデザインします
TWINBIRD

9型浴室テレビ　VB-J901

工事説明書

工事上の注意

はじめに…

- 施工業者様及び本製品をお使いになるお客様への危害並びに財産への損害を未然に防止するために、この「工事説明書」を工事前によくお読みのうえ、正しく、安全に取付工事を行ってください。
- 取扱説明書（保証書付）は施工中に紛失しないように注意して必ずお客様にお渡しください。
- 施工後のチェック及び動作確認を必ず行い、お客様に使用方法を説明してください。

●表示の説明

⚠危険 「死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容です。	⚠警告 「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	⚠注意 「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。

●図記号の説明

は、してはいけない「禁止」の内容です。	は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠施工前の注意事項

- 本製品は、BS／CS等の衛星放送は受信できません。
- CATVアナログ放送は正規周波数で放送されている場合は受信可能ですが、周波数をずらしていたり、専用セットトップボックスが必要な独自方式の場合は受信できません。

1. 工事上の注意

⃠ 本製品は新規取付けのユニットバス専用です。既存の浴室への後付の場合、裏打ち板を取付けできませんので、落下の恐れがないように、浴室用アンカー等で補強してください。ユニットバス以外の浴室には取付けないでください。

⃠ 本製品は精密な電子機器ですので、モニターやチューナーボックスの分解、ほこりやゴミの多い場所への取付け、濡れた手での作業等は行わないでください。
モニター及びチューナーボックスの施工後に、雨やほこりが当たる可能性のある場合は、その可能性が無くなるまでの期間、防護用の簡易ケース等をかぶせてください。

2. 電源（AC100V）工事

❗ AC100V配線は、電気工事士の資格をお持ちの工事業者の方が確実に行ってください。

❗ AC100V電源には、必ず漏電ブレーカー（漏電遮断器）および屋内開閉器（ブレーカー）を設置してください。

❗ AC100Vの配線工事は、ブレーカーを落とした状態で行い、全ての工事が終了するまで通電しないでください。

3. アンテナ線の工事

⚠ 受信可能チャンネルは、地上デジタル放送・地上アナログ放送共にUHF（13～62チャンネル）、VHF（1～12チャンネル）、CATV（C13～C63チャンネル）です。（ただし正規の周波数でない場合は、受信できません。）

⚠ 地上デジタル放送をCATVで放送している場合、本製品は周波数変換パススルー方式の信号は受信できますが、トランスモジュレーション方式の信号は受信できません。

❗ アンテナケーブル配線中に遠くで雷が鳴り出した場合は、感電の危険性がありますので、速やかに作業を中止し、雷が止むのをお待ちください。

❗ お客様と本製品を雷から守るため、アンテナと本製品の間に必ず保安器を設置してください。

❗ 本製品のアンテナ端子に供給される信号強度が55～80dBμVの範囲になるように、ブースターやアッテネーター等を使用して調節してください。

❗ アンテナ線の芯線と編組線間にDCまたはAC25Ｖ以上の電圧が加わるとチューナーボックスが破損することがありますので、作業前に上記の電圧が加わっていないことを確認してください。

⚠ 施工時・修理時の注意事項

❗ モニターとチューナーボックスを接続するケーブルは、必ず同梱品をご使用ください。

⃠ 電源を入れた状態でモニターとチューナーボックスを接続するケーブルを抜き差ししないでください。
本製品が故障する恐れがあります。

2. パッケージの確認と取付概略図

●構成と概略図

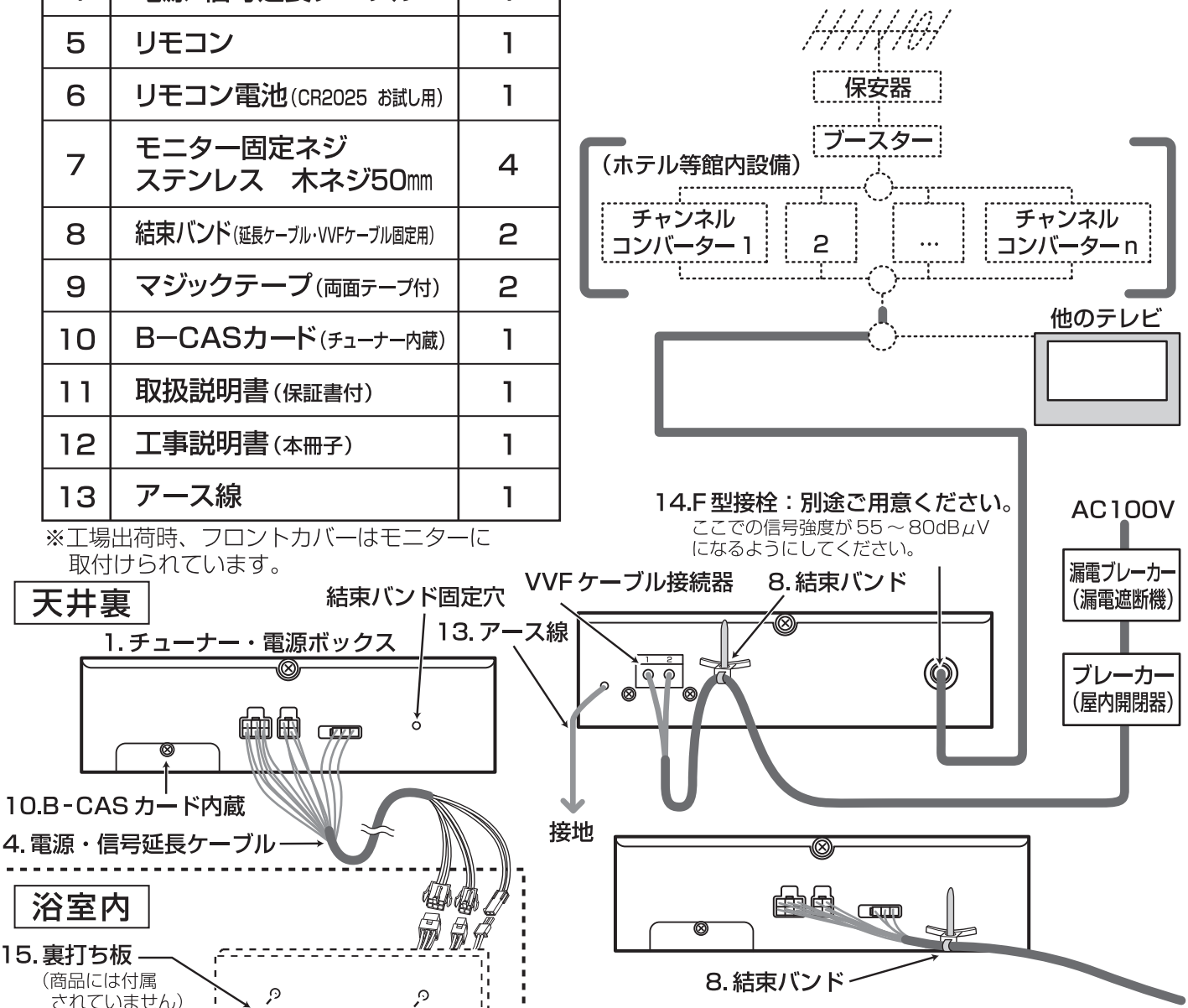
〈製品構成：欠品が無いかご確認ください。〉

No.	名　　称	個数
1	チューナー・電源ボックス	1
2	モニター※	1
3	フロントカバー※	1
4	電源・信号延長ケーブル	1
5	リモコン	1
6	リモコン電池（CR2025　お試し用）	1
7	モニター固定ネジ ステンレス　木ネジ50㎜	4
8	結束バンド（延長ケーブル・VVFケーブル固定用）	2
9	マジックテープ（両面テープ付）	2
10	B−CASカード（チューナー内蔵）	1
11	取扱説明書（保証書付）	1
12	工事説明書（本冊子）	1
13	アース線	1

※工場出荷時、フロントカバーはモニターに取付けられています。

〈施工業者様で用意していただく物〉

No.	名　　称	個数
14	F型接栓（プラグネジ式）	1
15	裏打ち板（厚さ15mm以上の防水合板）	1
16	壁内配管（必要に応じて） ＋自己融着テープ	1式



接続外略図

3. 取付け位置

壁の加工及びモニターの取付方法は、壁の状態によって異なりますので、
施工業者様にて壁に合った取付けを行ってください。

〔モニター取付位置を決める〕

⚠注意

⃠ 浴室テレビが変形・故障するおそれがありますので、下記の場所には取付けないでください。

高温（50℃以上）になる場所：サウナ・スチームサウナ等
浴室乾燥機からの温風が直接あたり、高温（50℃以上）になる場所
特殊薬品を使用する場所
屋外から直射日光の当たる場所
給湯栓やシャワー等の湯が直接かかる場所

⚠ 浴室テレビ本体の取付けは、傷、破損を防ぐため浴室の設置後に行ってください。

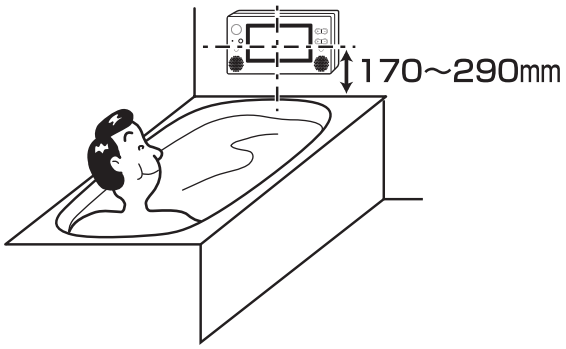
⚠ 浴室テレビ取付け前に、浴室テレビがお風呂操作リモコンや蛇口等と干渉しないかご確認ください。

⚠ 浴室壁パネル裏面にリブがある場合は、リブをさけて取付穴を開けてください。

① 浴室テレビ推奨取付位置

浴槽中央上縁部から高さ170～290mmの位置で、
入浴時に浴室モニターが目線の高さに来るように
取付けます。

（取付け位置の目安ですので、浴室に合わせて位置を調整してください。）



② 浴室壁パネルへの穴開け

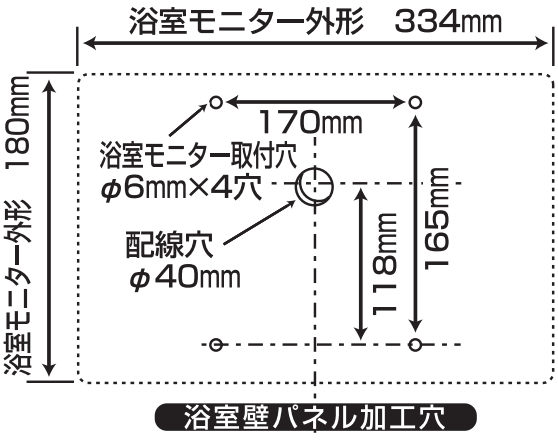
配線穴：φ40mm
浴室モニター取付穴：φ6mm×4ヶ所

⚠既設浴室への取付け時は浴室用アンカーに合わせた穴径にしてください。

⚠モニター背面のケーブルは、モニター中心より3.5cm上から出ていますので配線穴は、モニター取付け時の画面中心から3.5㎝上になるように開けてください。（画面中心と配線穴はずれています。）

⚠浴室モニター取付穴は左右に傾かないよう正確に開けてください。

⚠配線穴はアンテナケーブル及び電源コードが通りますので、配線を傷つけないよう、穴の内側のバリ等を取り除いてください。

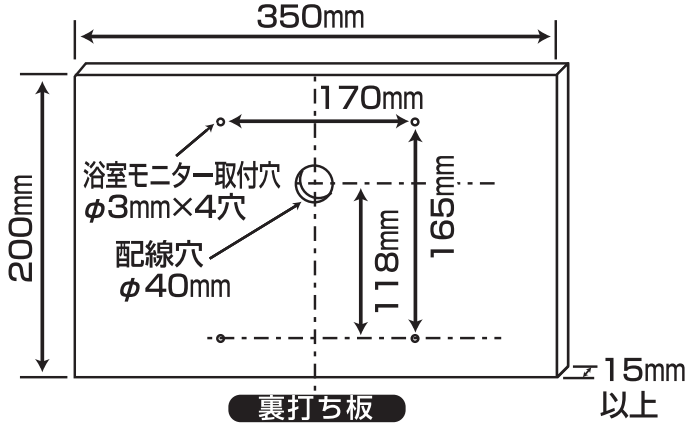


③ 裏打ち板の取付け

厚さ15mm以上の防水合板で、右図の寸法の裏打ち板を作成してください。浴室壁パネルの裏側に、浴室壁パネルの配線穴と裏打ち板の配線穴が一致するように裏打ち板を取付けて、接着剤等で固定します。

⚠浴室壁パネル裏側にリブがある場合は、裏打ち板を切断、分割して取付けてください。

⚠浴室壁パネルの裏側にパネル保温材がある場合は、裏打ち板の大きさに沿ってくりぬいてから、裏打ち板を取付けてください。

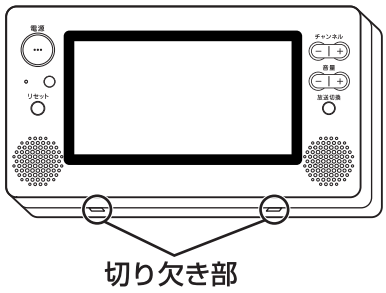


4. モニターの取付け

⚠ 注意

- ❗ モニターの傷、破損を防ぐため、浴室の工事終了（壁乾燥）後に行ってください。
- ❗ モニターに傷がつくのを防ぐため、モニターを載せる台や布を用意してください。
- ❗ モニター取付ネジの締付けは、手締めで行ってください。
- ❗ モニター取付ネジを締込む際は水平器で水平を確認しながら行ってください。
- ❗ 配線穴はモニター内の空気逃がし穴も兼ねていますので、ふさがらないようにしてください。
- ❗ 電源・信号ケーブルがモニターと壁の間にはさまれないようご注意ください。
- ❗ 電源・信号ケーブルの接続は、チューナーボックスのAC100V接続前に行ってください。

1. フロントカバーをはずします。



切り欠き部

浴室モニター下部の切り欠き部にコイン等を差し込んではずしてください。

2. 浴室壁の取付穴４ヶ所にシリコンを塗布します。

3. 本体裏の電源・信号ケーブルを配線穴から浴室の外へ出します。

⃠ モニター本体にストレスがかからないよう、丁寧に壁内にケーブルをおさめてください。

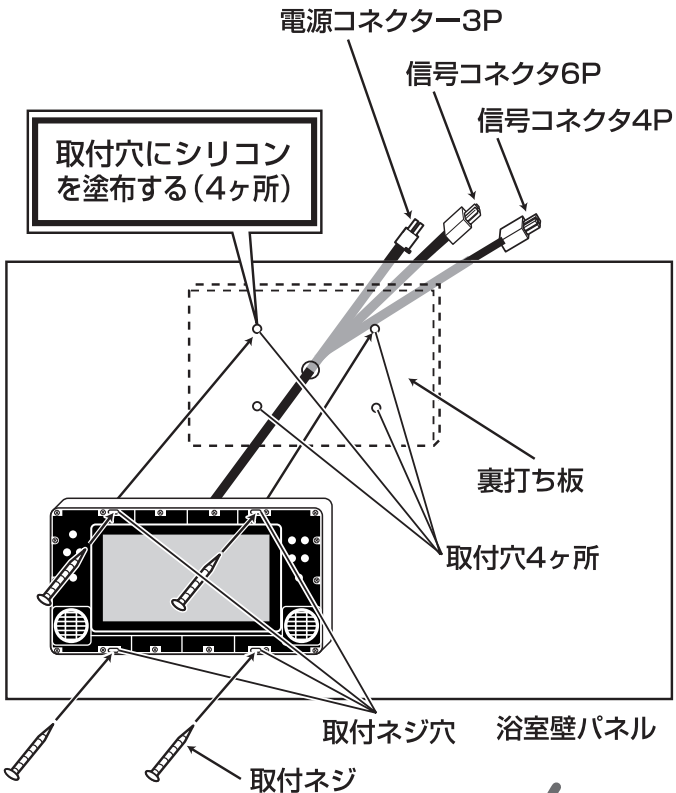
4. 浴室モニターの取付ネジ穴を浴室壁パネルの取付穴の位置に合わせ、モニターを水平にして取付ネジで壁に固定します。

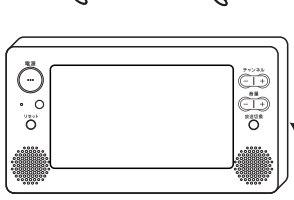
⃠ 取付ネジは電動ドライバー、インパクトドライバーで締め付けないでください。
強い力で締めると破損の原因になります。

5. 浴室モニターと壁パネルの接触部分（全周４辺）に、シリコンを切れ目なく塗布します。
（モニター背面に水が入るのを防止します。）

⃠ 裏打ち板及び壁パネルの配線穴には、シリコンを塗布しないでください。

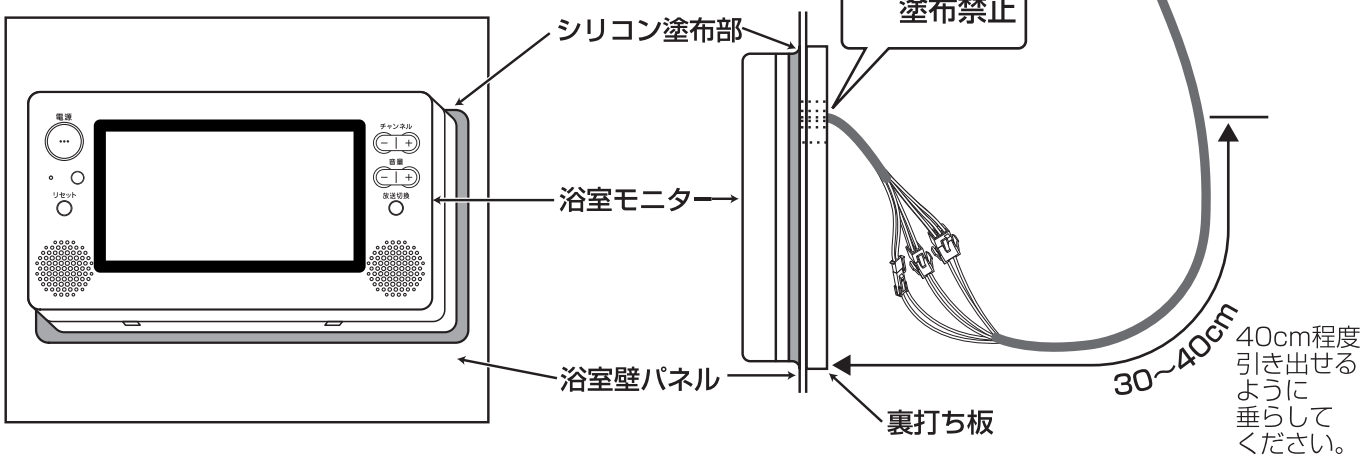
❗ 必ず、浴室モニターの全周4辺にシリコン塗布を行ってください。





フロントカバー

6. フロントカバーをしっかりとはめます。



5. チューナー・電源ボックスの取付け

1）チューナー・電源ボックスを設置する天井裏部分のホコリ等を除去してください。

●チューナー・電源ボックスは必ず天井点検口から点検できる位置に設置してください。

●天井裏に設置するスペースがとれない場合は、浴室外の、湿気やホコリが少なく点検修理が可能な場所に設置してください。

2）チューナー・電源ボックスにアンテナケーブル、電源・信号ケーブルを接続してください。（接続方法に関しては5～6ページをご覧ください。）

3）チューナー・電源ボックス底面に貼付けられている、両面テープ付マジックテープの剥離紙をはがし、天井裏に貼り付けます。

（メンテナンス時にチューナー・電源ボックスを容易にはずせるようにマジックテープを使用しています。）

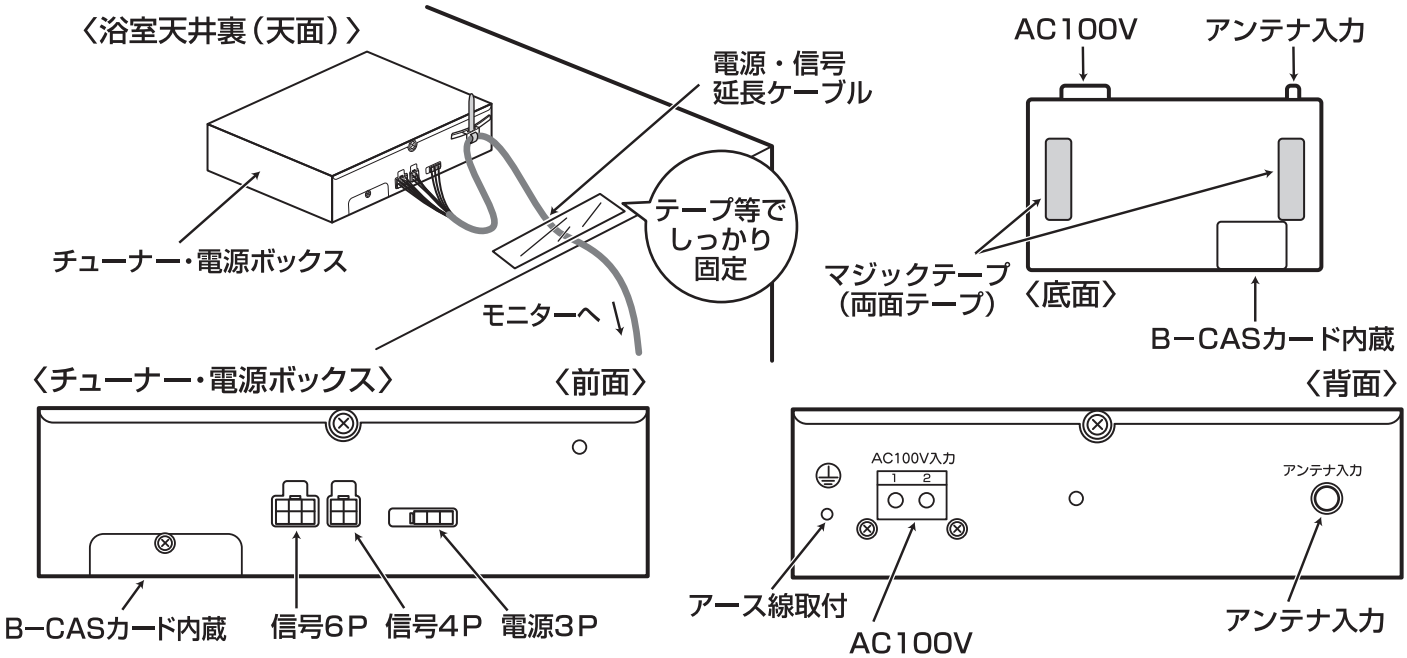
⃠ 発泡材などの断熱材の上に設置する場合は、マジックテープ1本を半分に切断し使用してください。
2本使用すると接着面積が広く、取りはずす際に断熱材を傷つける恐れがあります。

4）各ケーブルはモニター配線穴真上から垂らし浴室天井部にテープ等でしっかりと固定してください。（浴室配線穴から浴室内へ40cm程度引き出せるよう垂らしてください。）

⚠注意

❗ 余ったケーブルは、束ねて浴室天井部にテープ等でしっかりと固定してください。

⃠ チューナー、電源ボックスには保温材等を巻きつけないでください。
巻きつけると故障の原因になります。



5）モニターの各ケーブルコネクターと接続してください。

6. AC100V　電源の接続

⚠注意

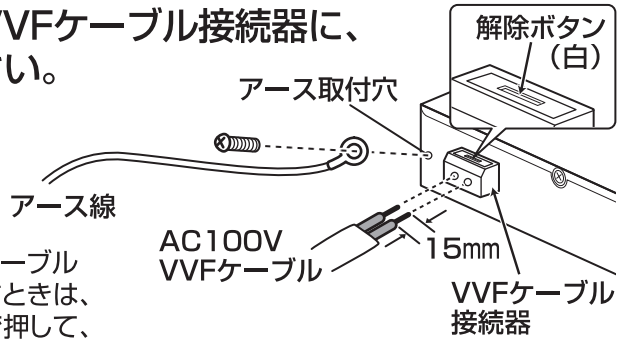
❗ 屋内AC100V配線は、電気工事士の資格をお持ちの工事業者の方が確実に行ってください。

1）チューナー・電源ボックス背面にでているVVFケーブル接続器に、AC100VのVVFケーブルを接続してください。

2）アース線（グリーン／黄線）を取付け、片側を接地してください。

⃠ VVFケーブルはφ1.6～2.0mmを使用してください。

⃠ VVFケーブルは芯線を15mmでるように加工してVVFケーブル接続器の奥まで挿入してください。VVFケーブルをはずすときは、VVFケーブル接続器の解除ボタン（白）を最大2.4mmまで押して、抜いてください。解除ボタン（白）を2.4mm以上強く押し込むと破損の原因になります。



7. アンテナケーブルの接続

⚠注意

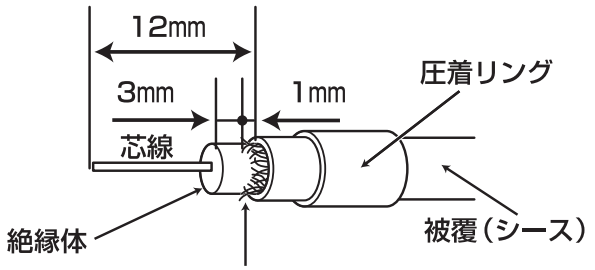
⚠ アンテナF型接栓は施工業者様にてご用意ください。

❗ モニター取付け前にアンテナケーブルの事前工事を行う場合は、天井付近に長さ3m程度の余裕を持たせてください。

⚠ 適合アンテナケーブル（同軸ケーブル）は、5C−2VまたはTVEFCXです。
信号強度は55〜80dB（μv）であることを確認してください。

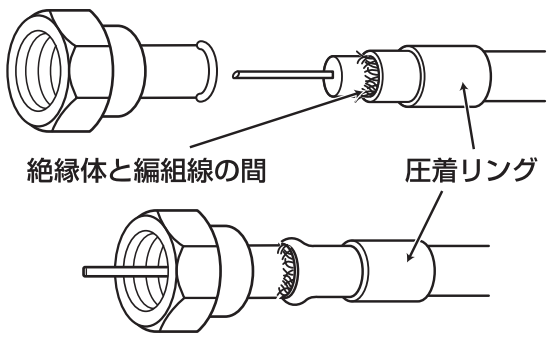
① アンテナケーブル（同軸ケーブル）を下図のように加工し、圧着リングを通します。

❗ アンテナケーブルが出来るだけたるまないよう長さを調整してから加工してください。

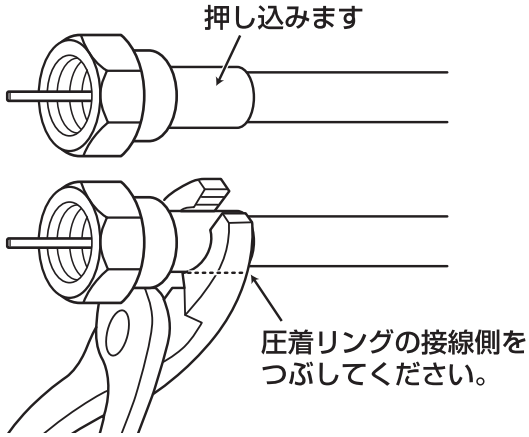


編組線を約1mm残して切り落とします。
（折り返しません。）

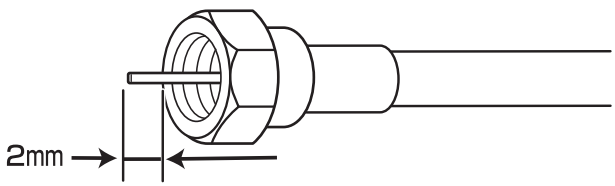
② F型接栓をアンテナケーブル（同軸線）の絶縁体と編組線の間に、奥までしっかり差し込みます。



③ 圧着リングをF型接栓と被覆（シース）の上にかぶせ、プラグが抜けないようにプライヤ等で締めつけます。（ペンチを使用する場合はケーブルを切らないよう先端を使用してください。）



④ 芯線をF型接栓から2mm程残し、余分部分を斜めにカットして芯線をまっすぐにし、中心に来るようにします。

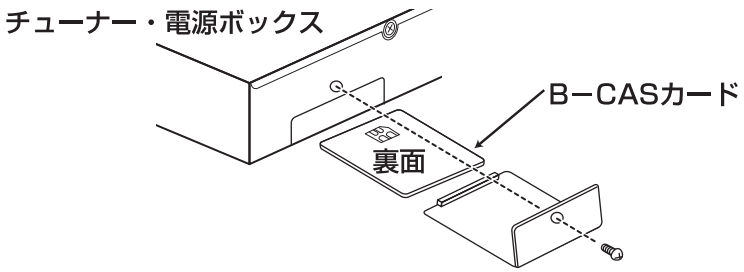


⑤ F型接栓をチューナーボックスの背面のアンテナ入力（F型ジャック）に接続します。

8. B − CAS カードの挿入

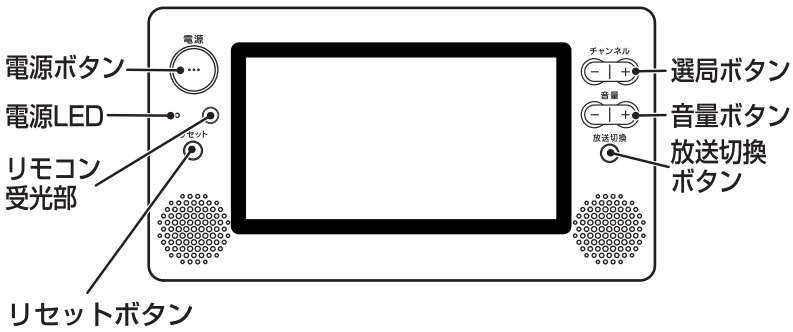
1）B−CASカードは挿入された状態で出荷されています。
このまま、試運転を行い、テレビの設定を行ってください。

2）デジタル放送が受信できないまたは「B−CASカードが挿入されていません」と表示された場合は、AC100Vの電源を切ってからB−CASカードカバーをはずし、B−CASカードを挿入し直してください。カバーをカバーネジ（1本）で固定してから、再度電源を入れてください。

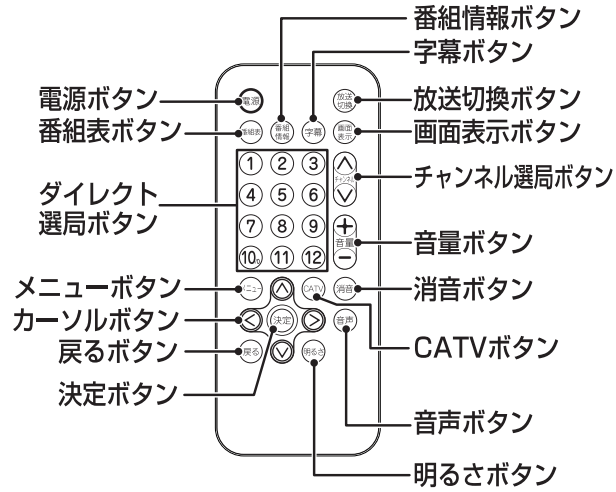


9. 試運転とチャンネル設定

〈モニター〉



〈リモコン〉



室内開閉器（ブレーカー）を入れた後、モニターの電源を入れて、テレビの設定・確認をしてください。

⚠注意

⃠ 電源を入れた状態で、モニターとチューナー・電源ボックスを接続するケーブルを抜き差ししないでください。本製品が故障する恐れがあります。

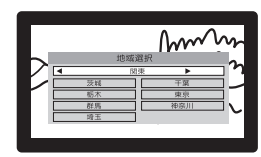
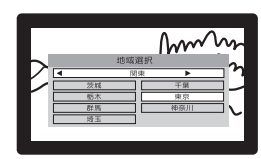
〔チャンネルの設定方法〕

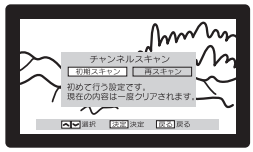
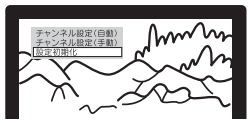
リモコンを使って、チャンネルの設定および動作確認を行ってください。（モニター側ではチャンネル設定できません）

- リモコンの「∧∨＜＞」ボタンで項目を選択し、(決定)ボタンで決定してください。
  選択項目の文字の色が白から黄色に変わります。
- 画面上に表示された選択項目の次の項または前の項に移るときは、
  リモコンの ∧∨＜＞または (戻る) ボタンを押してください。

⚠注意

**一連の設定・確認で5分を超えるとB−CASカードの使用許諾画面が表示されます。
使用許諾画面はお客様が表示に従って操作する必要があります。
施工業者が上記の一連の設定・確認までにB−CASカードの使用許諾画面が表示されたときは、
一旦電源を切り再度電源を入れて設定・確認の手続きをしてください。**

項　　目	詳　　細
1.電源を入れる	（1）モニターの電源ボタンを押すと、電源LED（緑色）が点灯し、「…起動中…」と表示されます。
2.地上デジタル放送のチャンネルを設定する	（1）約10秒後、自動的に「地域選択」画面が表示されます。  （2）リモコンで＜＞で地方（北海道・東北・関東など）を選び(決定)ボタンを押します。 ∧∨＜＞で該当の県または地域を選択し(決定)ボタンを押します。 

項　目	詳　細
	「チャンネルスキャン」画面が表示されます。 「初期スキャン」を選択し(決定)ボタンを押すと設定を開始します。(約1分でプリセットされます。)  (3) 設定完了すると、設定されたチャンネル番号と局名が表示されます。 全てのチャンネルが設定されたことを確認し、(決定)ボタン又は(戻る)ボタンを押してください。 (4) アンテナ受信レベルを確認します。 確認方法は取扱説明書の「アンテナ設定」(16ページ)を参照してください。
3.地上アナログ放送のチャンネルを設定する	(1) リモコンの(放送切換)ボタンを押して「アナログ」(地上アナログ放送)に切り換えます。 (2) リモコンの(メニュー)ボタンを押すと、「機器設定」が表示されます。(決定)ボタンを押します。  (3)「チャンネル設定(自動)」を選び、(決定)ボタンを押します。 次に「自動プリセットしますか?「はい」「いいえ」」の画面で「はい」を選択し(決定)ボタンを押すとチャンネル設定を開始します。 (4) チャンネル設定が完了すると、設定されたチャンネルが表示されます。 (5) チャンネル設定完了後、(戻る)ボタンで映像画面に戻し、(チャンネル)ボタンを押して全てのチャンネルが設定されたことを確認します。
4.モニターの各ボタンで動作確認を行う	モニターの電源を入れ、各ボタンの動作確認を行ってください。 (1) チャンネル表示の確認 • 現在のチャンネル番号が画面上に表示されることを確認してください。 表示されない場合にはリモコンの(画面表示)ボタンを押してください。 (2) チャンネルボタンの確認 • チャンネルが前後の局に移動し、チャンネル番号が画面に表示されることを確認してください。 (3) 音量ボタンの確認 • 音量調節ができ、音量が画面下に音量バーで表示されることを確認してください。 (テレビ信号のない状態では音声が出ませんので、テレビ映像及び音声の出た状態で確認してください。)
5.故障かな？と思ったら	「リセット」ボタンを押して再度、確認してください。 また「取扱説明書」の19ページ「こんなときは」をご覧頂き、もう一度確認してください。

製品番号/製品名/履歴NO.	サイズ/ページ数	材　質	印刷色	加工	出力形態
VB-J901	A4 (210×297) 8P	白上質紙 A判 44.5kg	1color Black	☒折り ☐中綴じ	☒海外 /☐国内 ☐FILM/☒CTP
9型浴室テレビ 工事説明書	☐個人情報保護法／東京都条例 ☐住所表記:燕市吉田西太田2084-2 ☐07表紙フォーマット ☐愛情点検(浴室テレビ) ☐TBPS-B0100準拠	備　考 リセットボタン変更に関わる改訂			
RX1103D					

(改版D 第2回版下校正　2011年3月09日)

検印	品	サ	開	OMD	担当

☐商品データベースとの整合性
☐デザイン仕様書との整合性

TWINBIRD　ツインバード工業株式会社
〒959-0292　新潟県燕市吉田西太田2084-2
修理サービスに関するお問い合わせ「お客様サービス係」
(フリーダイヤル)0120-337-455　FAX(0256)93-1077
お電話承り時間:平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時
ホームページアドレス　http://www.twinbird.jp

RX1103D